

道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

南郷中学校

令和元年9月3日(第15号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 171利用訓練に参加されましたか？ 実は5日木曜日まで体験可能です。 ◆◆

9月1日(日)に、171利用訓練を実施しました。9月1日は、関東大震災が起こった日です。もうずいぶん昔の話、大正12年(1923年)ですから96年前の地震ということになります。火災旋風による被害は甚大で、10万人を超える人が死亡或いは行方不明となりました。このことから9月1日を「防災の日」と定め、8月30日から9月5日までが「防災週間」となっています。

このため171利用訓練で登録したメッセージは、実は防災週間の期間中(5日まで)は、日曜日のメッセージがまだ聞けるのです。訓練に参加し損なったと思った方、下記の簡単な操作で、実践練習ができます。メッセージは8つありますが、3つほど聞いて頂ければ十分です。今からでも遅くありません。是非参加してみて下さい。(通販のCMの決め台詞のようですが、「今すぐお電話を！」)

- ①「171」をダイヤルする。
- ②再生なので「2」をダイヤルする。
- ③南郷中の電話番号「046-875-9494」をダイヤルする。
- ④プッシュ式の電話機は「1」と入力する。
ダイヤル式の電話機で入力できない場合はそのまま待つ。
- ⑤伝言の再生が終わったら電話を切る。(終了)

◆◆ 「身だしなみ」スクールマナーセミナーを実施しました。 ◆◆

8月29日(木)には、ニッケ(日本毛織株式会社)さんのご協力で、「おしゃれ」と「身だしなみ」の違いを理解し、気をつけようという意識を育むためのセミナーを開きました。5時間目が1年生、6時間目に2年生が受講しました。それぞれ学ぶところがあつたようで、私の目にとまった感想を3つ紹介します。なお、講師を務めて下さったニッケの方々、3人とも口をそろえて、南郷中学校の生徒の受講の姿勢を褒めて下さり、素晴らしいと言って下さっていたことと、アンケートは名前を切り取って送るため、クラス名以外、だれの感想かは分かりませんことを申し添えておきます。



身だしなみに関する話を聞き、見た目の印象が周りにあたえる影響の大きさや、第一印象の大切さなど、たくさんのお話を学ぶことができました。これから先、身だしなみなどのマナーが重要になってくる場面が何度もあると思うので、今日教わったことを、高校や大学、社会で生かしていきたいです。(2B)

今日の動画を見て、周りの人と「かわいいのにね・・・」と話したが、何の情報もなく、(その子が)いきなりみずばらしい少女でいたら、顔とかじゃなく、格好やオーラで判断してしまうと思う。同じ人物なのに、あれほど(周囲の人の)態度が違うなんて、衝撃を受けた。それほど、見た目は人にとって自分を表現する大切な手段なのだろう。(2B)

身だしなみは気にすることはあつたが、そこまで重要とは思わず、TPOでその状況や場所に合わせた自分の身だしなみで相手につく印象が変わり、将来が揺さぶられることもあると知って、とても大切なことに気づいた。TPOに合わせて自分で着るものをしっかり選び、いい印象を与えられるような人にならないといけないと思った。(2A)

◆◆ 代表選手などで大会等に参加するため、学校を公欠扱いとしたいときの手順について ◆◆

昨年度は、学校を休んでも出席扱いとする(公欠)の扱いを希望される場合、参加する大会等が妥当と校長判断した場合、課題を与えずに了承しておりましたが、本年度より、「その大会に参加することによって、自分にどんな成長があつたか」または、「その大会に参加するため、あなたはどんな準備や課題を克服してきましたか」といった、課題に対し、レポートを提出してもらうことを条件に認めることにいたしました。町内の葉山中では課題を出していたので、本校も合わせる形となります。どうかよろしく申し上げます。

一番はじめに新ルールで公欠を認めるのが、
さん(3B)。国内選考会を経て選ばれた10名に入り、日本代表選手として9月28日～10月9日まで、遠くオマーンの地ムッサナーで2019年度OP級アジア・オセアニア選手権大会に出場します。健闘を祈るとともに、レポートを楽しみにしたいと思います。

◆◆ 6月に実施したのですが、3学年の修学旅行の感想が出てきたので紹介します。 ◆◆

3年A組

今回の修学旅行では、日本の文化や歴史などについて深く学び、友達と協力して行動することの大切さ、楽しさを学ぶことができました。たくさんの思い出ができましたが、特に三つのことが心に残りました。

一つ目は、一日目の夜のさんの講演会です。これまで学校でしてきた平和学習はとても意味のあるものですが、さんのお話を聞いてより深い学びになりました。これまで被害の歴史を知る機会が多かった私にとって、リアルな加害の話は衝撃的でした。日本人の知ってきた恐ろしいこと、在日朝鮮人の方の苦しみは、私の盲点でした。今回お話を聞いて知ることができたので、このことをしっかりと頭に入れて平和について考えていく必要があると思います。

二つ目は、一日目の夜の平和集会です。灯ろうが川に流れていて幻想的な雰囲気の中歌った「広島のある国で」は、学年の心が一つになったように感じました。川を通して歌声が街に響いたとき、この声があの日にも響きますように…と心から思いました。これまでの練習の成果、過ごしてきた日々の絆が、あの歌声を生んだのだらうと思います。今回味わった一つになる感動を忘れず、残りの時間をみんな楽しんでください。

三つ目は、三日目の班別行動です。ここまで自分たちで考え、決める活動は初めてで、緊張したけれど、みんなで協力してできたと思います。お昼ご飯の調ベミスで急きょ調べ直したり、お店が満員でお昼ご飯が食べられなかったりなど、いろいろなアクシデントがあり、とても大変でした。普段どれほど周りの大人の方に頼っているのか、実感しました。自分で考え、実行する力が必要だなあと改めて思います。今回は班員で協力して乗り越えることができましたが、これからのことを考えると、もっとしっかりしないといけません。今回学んだことをもとに、考え、行動する力をつけていきたいです。

二泊三日と言う長いようで短い時間の中で、たくさんのことを学ぶことができました。今回学んだ事は、どれも生きていく上でとても大切なことだと思います。今回の学びを忘れず、これからも頑張っていきたいです。

3年B組

私は修学旅行を、中学校に入学してから、ずっと楽しみにしていました。部活で、3年生の先輩が修学旅行のお土産を買ってくる度に、中1の頃は、「いいなあ、修学旅行、楽しそうだなあ」、中2になれば、「ついに来年だ!」というように、修学旅行への期待が、次々と高まっていました。そしてついに、待ちに待った修学旅行。私が2年間期待していた通り、とても思い出に残るものになりました。

まず1日目。朝早く起きれるか心配でしたが、何とか起きれました。逗子駅に着いて皆と顔を合わせた瞬間、リレーで言うスタートのピストルが鳴らされたような感覚が脳内に響き渡り、「ついに始まった!」という嬉しさでいっぱいでした。そして広島に到着し、本川小学校と袋町小学校を見学しました。あの日の傷跡が残るこれらの小学校を見て、ここで辛い戦時中も一生懸命生きていた当時の子供たちが一瞬にして死んでしまったんだと考えると、本当にかわいそうだと思います。そしてついに生まれて初めて見た原爆ドームは、想像以上の迫力というか、重々しさが伝わってきました。もうこの建物が、直接私たちに何かを訴えてくるような感覚を覚えました。旅館で聞いたさんのお話では、日本は、被害を受けただけではなく、在日の人々への加害の歴史もあったんだと、益々悲しくなりました。そしてさんの、「戦争を知らない子ども達と、戦争しか知らない子ども達」という言葉が印象に残りました。そんな広島への思いが詰まった灯ろう流しや、ライトアップされて重々しく夜の広島町の町に浮かぶ原爆ドームは、今でも忘れられません。…少し話は変わりますが、夕方行ったお好み焼き屋さんで、出来上がるのが遅く、集合時間に間に合わない焦りましたが、とてもおいしかったのでよかったです。ちなみに私はそば入りのお好み焼きを食べました。

2日目は、原爆記念資料館に行きました。実は私は、被爆者の方がひどく傷ついているような過剰な写真などが少し苦手な、資料館のすべての写真は見れませんでした。しかし、写真を全て見なくても伝わってくる、原爆の恐ろしさがありました。特に印象深かったのは、被爆者の方が来ていたボロボロの衣服です。これを着て死んでいった人々の気持ちや念が、その衣服を通して重々しく現れていました。…その後京都では班別行動に移り、永観堂と銀閣寺に行きました。中でも永観堂の建築様式はまさに日本の文化の象徴そのもので、「住みたい!」…と言ってしまふほどでした。この日の夜のしゃぶしゃぶも、とてもおいしかったです。しかしその夜、先に眠ってしまった隣の布団の友達のいびき(寝言?)がすごく独特で、それが本当におかしかったですのでツボってしまい、先生や先生に怒られてしまいました。それでもあれは本当に面白かったですので仕方ありません。

3日目、「ついに最終日か…」という少し暗い気分できき、朝食の湯豆腐を食べました。私の班が見学したのは、二条城に三十三間堂、東寺そして西本願寺です。特に楽しみだった三十三間堂は想像以上にすごくて、様々な顔の仏像がずらっと並んでいました。こんなにたくさんの仏像を作った昔の人は、相当不安なことがあったんだろうなあなど色々なことを考えていたら、1日中そこにいられるような気もしてきました。東寺に行く途中、バスを間違えてしまい時間が大幅に遅れてしまうということもありましたが、お昼のうどんを班員全員が全力で食べ、なんと10分しかかかりませんでした。人間の無限の可能性を感じました。

このように、今回の3日間の修学旅行の中でたくさんの思い出ができました。もう終わってしまったのはとても残念だけど、この3日間の貴重な体験は、一生の宝物になると思います。本当に楽しかったです。